

広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611 [代表]

人口

— 7月31日現在 —

人口 10,118人 男…4,826人
女…5,292人
世帯数 ……………2,604
転入 24 出生 9
転出 24 死亡 6



第169号
昭和48年

9月1日

おもな内容

- 三木長官休暇村予定地を視察……………2
- 本町の赤牛もご供覧(皇太子ご夫妻)…3
- 花やか風鎮祭(写真グラフ)……………4・5
- まだまだ長生きしますばい……………6
- 夜盗虫が異常発生(洗川牧野)……………7
- こわい野犬・各地で被害……………8
- 高森その歴史(色見各姓の系譜)…………9
- みんながつくる町民のひろば……………11

高原の暮色

阿蘇の秋は早く、五岳から吹きおろす風が肌に冷たく感じるきょうこのごろ。山すそに広がる高原はすっかり秋の装いに変わり、やまなみのススキの穂波が夕映えの逆光に白銀色に輝いて、叙情的な野外風景をかもしています。

これから阿蘇高原の一番すばらしい季節。雲の流れはあかね色に染まり、夕暮れの家路を急ぐ子どもたちの黒いシルエットに一抹の郷愁が感じられます。
Ⅱ写真は別所の堤で(長山氏提供)



▷ 9月2日	馬原医院	高森②0646
▷ 9月9日	東 医院	高森②0309
▷ 9月16日	寺崎医院	高森②0378
▷ 9月23日	小林医院	高森②0075
▷ 9月30日	本田医院	高森②0016

とじておくと役立ちます

中央帽子が三木環境庁長官、その右町長



第十五回自然公園大会に出席のため、このほど来熊した三木環境庁長官は、八月九日、小山副知事、成川同庁阿蘇国立公園事務所長らとともに高森町を訪れ、岩下町長の案内で草河原一帯の国民休暇村候補地を視察しました。

同長官は、そのさい、根子岳を目前にした国民休暇村建設の立地条件として申し分なく、施設をつくる以上は特色のある休暇村の計画を盛り込み、できるだけ規模の大きなものにした方がよいと語り、休暇村実現の可能性があることを示唆しました。

三木長官休暇村予定地を視察

“立地条件申し分ない” 実現の可能性を示唆

この日、高森町入りした三木長官は、国道二六五号線小倉原入口付近で車を止め、出迎えた岩下町長の案内で国道脇の予定地に立つて、遠見塚周辺から草河原、ちくた山一帯、また、根子岳周辺を視察しました。

とくに、根子岳方向の展望には感心したように目を向け、同伴の成川同事務所長の説明を聞きながら、町長から双眼鏡を借りてのぞいたあと、町長に「南阿蘇外輪の大きさは格別である。国民休暇村の建設は、敷地の大半が民有地と聞いているが、用地買収さえうまくいけば休暇村づくりの構想は心配ない。用地買収にあたっては、地元としても総意をあげて努力してほしい」と語りました。

現職の国務大臣が当町を訪問したのは、去る四十三年の故野田武夫自



三木長官がこんどの現地視察でとりわけ感心したのは、高森名物の田楽料理。町側の特別のはからいで、上色見国道わきのクヌギ林に設けた野宴会場に足を運んだ長官は、睦子夫人や秘書団、県側要人といっしょに大

治大臣が遊説のさい来町していら、五年ぶりのことであり、しかも副総理の「大物大臣」の現地視察にあたっては、同長官の発言の感触からも「実現有望」との見方が強まってきた。

察ということ、かなりの期待をかけているだけに、今度の国民休暇村誘致指定

高森田楽にご満悦

最後に長官は、「地元のみならずからこんなおいしいものをこちそうになったので、休暇村はぜひとも高森にもってこなくては……」。と外交辞令も忘れず、終始なかなかひとときでした。

本町の赤牛もご供覧

自然公園大会 皇太子ご夫妻、阿蘇へ

第十五回自然公園大会にご出席された皇太子ご夫妻は、八月九・十の当日、草千里を中心に開かれた各種行事に参加されましたが、とくに本町としてありがたいのは、一の宮町の木落牧場にご臨席のさい、本町出品の「なみひで号」など阿蘇の肥後赤牛を興味深くご覧いただいたことです。

会場の木落牧場には阿蘇三畜協のうち、南阿蘇畜協からも色見、白水の赤牛二頭が供覧牛として選ばれましたが、動植物のお好きな両殿下は深い関心を示されました。

とくに美智子妃殿下は、本町色見の住吉始守さん出品の供覧牛「なみひで号」の前にお立ちになると、牛の顔をなでながら、住吉さんの妻アキエさんに「この牛はどうしてこんなにツノが長



木落牧場の皇太子御夫妻（熊日提供）

も初めての両殿下のお優しいような表情にうっとり。お二人は、木落牧場で、牛舎や乾燥小屋をご覧になりましたが、美智子妃殿下は、かわいいうさぎの子牛にとくに目を細めておられました。

野尻の佐藤さん 知事表彰受ける

自然公園大会場で

本町野尻、津留の家屋調査士、佐藤武之さん（五七）は、自然公園大会初日の九日、主会場の草千里で、皇太子ご夫妻、三木環境庁長官らの前で、自然保護に尽くした功労者として知事表彰を受けました。

佐藤さんは、郷土にあって仕事のかたわら、アマチュアカメラマンとして活躍、南阿蘇山東部の動植物を記録にとり、県下一円に保護を呼びかけてきたもので、知事表彰者五人中の一人です。

とくに八日夜は、両殿下ご宿舎の阿蘇観光ホテルで開かれた両殿下を囲んでの自然保護の座談会にも招かれ、高森地方に自生する野草「ヤシシロソウ」の鉢植えを両殿下にお目にかけました。

根子越え、友情のペダル

サイクリング大会に二六五人



村山坂を走るサイクリング隊

自然公園大会二日目の十日は、参加団体による野外活動が阿蘇高野原一帯で各グループに別れて行なわれました。

日本サイクリング協会野外活動隊は、この日午前八時過ぎ、中岳三合目の野外キャンプ場を出発。一の宮坂から二六五号線に出て根子岳ふもと、大戸ノロを越え、ゴールの高森中グラウンドまで三十四キロのコースにのぞみました。

参加したのは東京、大坂、岡山愛媛、北九州など全国各地のサイクリングの仲間二百六十五人で、熊本市から参加した七十四才のおじいさんを最高に、小学四年生の一歩は再び愛車にまたがるなどして帰途に着きました。

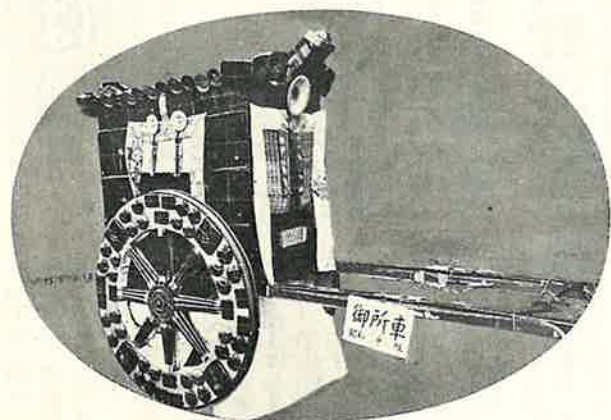
このあと、一行はバスに分乗、一部は再び愛車にまたがるなどして帰途に着きました。



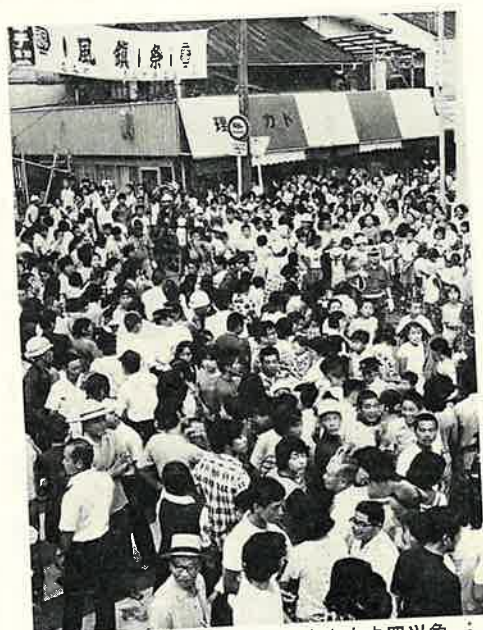
そろいのユカタで手ぶりもあざやか。17日夜に行なわれた山引き踊りには高森校区婦人会員が主役でした。



中央舞台では公開録音が開かれ岩下町長も出演。



特等になった昭和6組の御所車。



祭見物でこった返す高森中央四ツ角

伝統の

町役場や各町内の手踊り、奇抜な仮装行列が約四時間わたって町を練り回り、午後三時過ぎには入浴はざつと二万人になりました。

午後五時からは祭りのやまを迎える造り物が中央十字路に勢ぞろい、三味、タイコ、ハヤシに乗って練り出し、祭りはまさに最高潮。ハイジャックにあつた日航のジャンボ機の造り物も登場して、見物人から盛んな拍手を浴びました。

夜は祭り恒例の儀式「節刀渡り」が四つかどでおそかに行なわれ、昭和から旭通りへ引き継がれたあと、見物人は向上会青年たちによる移動にわかを見物、夜遅くまで祭り気分にあふれていました。

お礼

町恒例の風鎮祭は、ことしも皆様の絶大な協力をいただき盛大に催すことができました。厚くお礼申しあげます。また、役場職員をはじめとした仮装、踊り子一同に対し、多額の御花をいただきありがとうございました。

高森町長 岩下 八束
商工会長 吉良 茂

花やか風鎮祭



祭りの庄巻はなんといっても造り物の山引き。ことしは二十九基が出品されました。

向上会にわかも復活、独特の寸劇に観客も大笑い。夜遅くまでにぎわいました。



二等の一席に入賞した下町二組の白鷺。羽根にビニール皿、毛糸など使っています。

造り物町を練る

二百年の伝統をもつ高森町恒例の風鎮祭(町、商工会共催)は、八月十七・十八の二日間とも好天気に恵まれ、呼びものの「やまひき」をクライマックスに花やかな祭り絵巻が繰りひろげられました。

祭り初日は午前零時を期してカネ、太鼓などのハヤシによる目ざましが行なわれ、祭りの開始を告げました。町内各組ではこれを合図に「造り物」の仕上げを終え、同日昼過ぎには表通りのつじつじに二十九基の造り物を並べました。赤、白、黄、と色とりどりの三角旗が飾られ通りは祭り一色。

午前十時から町内各区の踊り子たちがオハヤシなどに合わせて町を練り歩きしました。午後からはRKKの「サンデージャンボリー」の公開録音が若者の人気を呼び、夜は婦人会の山引き踊り、熊日後援の花火大会が催され、近くの町村からの見物人でごった返しました。

二日目の十八日は高森阿蘇神社で五穀豊じょうを祈る神事があつたと、ダンとともに

まだまだ長生きしますばい

90歳以上が17人も

元気なお年寄り三人を訪問

現在、わが国の六十五才以上の
お年寄りは七百万人。七十年代に

は倍以上の千五百万人に達すると
いわれています。このような寿命
の伸びの中で、本
町には多数の長寿
者がいます。
このほど、敬老
の日を前に福祉
係が調査作成した敬老会名簿によ
りますと、七十五才以上のお年寄

りは約四百四十人。な
かには九十才以上の高
齢者十七人が含まれて
います。そこで、今月
は長い人生の旅を送っ
てこられた元気な長寿
者三人を訪問、その健
康ぶりと長寿の秘訣な
どを紹介してみること
にしました。

15日は敬老の日



た。

食事は固いもの
を除けば人並みの
ものをよく食べ、
食後は散歩とい
う生活です。

元気な時は冬で
も朝早くから身
回りをかたづけ、
たまには一人でバ
スに乗って、ひ孫

のいる高森へ遊びに下ります。

春夫さんは昭和十年に草部に住
みついて以来、酒販売を始め、そ
のせいか酒は大好き。しかし、む
ちや飲みは慎んだそうです。父が
九十九歳まで生きたので、ぜひ百
まで生きてみたい、と家族に語り
元気なところをみせています。

「バスも一人乗り」

芹口 草村 春夫さん(92)

いつも敬老会には欠かさず出席
している草部の元気なおじいさ
ん。
昨年までツエも使わず歩き、
近所の人々を驚かせてしまし
た。先月、医者に診察してもらっ
たとき、血圧が高いといわれ、最
近は寝て過す日が多くなりまし



「大好きなテレビ」

高森 本田こまちさん(91)

本田こまちさんは本田医院のオ
パアチャン。明治十五年生れです
が、元気なことではともかく他に
類がありません。顔の色つやが良

く、視力に至っては若者同然、さ
すがは医者さんの育ちというの
が第一印象です。

最近になって耳が遠くなったと
本人は言いますが、日常不便なほ
ど遠くはなさそうです。毎朝、入
院患者への給食準備が日課のはじ
まりで、配膳、皿洗いなどよく手
伝います。暇になれば、テレビを
見るか、近くの娘さんの家へ出か
けます。とくにテレビは大好きで
ドラマ、歌謡曲の大ファン。悪役
が登場するとテレビの画面をたた
いて興奮することもしばしばで、
回りの人々をよく笑わせていま
す。

また、こまちさんは車に乗せて
もらうとご気分。二男の勝信先生
の車で旅行を楽しむこともありま
す。最近はやりたいことが多くて
「遅寝早起」の生活が続いたと高
齢者に珍らしい生活ぶりを披露し
てくれました。



右側が後藤トエさん

「一升の酒が十日」

河原 後藤 トエさん(91)

大分県と隣り合わせの河原部落
にお住いの長寿者、後藤トエさん
は明治十五年四月二日生れで、こ
とし九十一歳、五、六年前から耳
が少し遠くなったため、長男の一
二さん(72)をなかにその健在ぶ
りを聞かせてもらいました。トエ
さんの日課はまず屋敷の草取りか
ら始まるということで、インタビ
ューに訪れた時もせっせと草取り
に励んでおられました。病氣は記
憶していないというほど丈夫で、
食べることもまだまだ旺盛。日に
三度の食事でも決して欠かす、夕
食に飲むコップ一ぱいのタマゴ酒
と、テレビを見るのがなによりなの

「夜盗虫」が異常発生 洗川 牧草地を食い荒らす



洗川牧場で薬剤散布をする地元民たち

楽しみだということです。とくに
「酒」は、かつて近所でも「女関
取」の異名がついたほどの名うて
の酒豪だったとか。一二さんは

「うちのバアちゃん、いまでも
一升の酒が十日でなくなるんです
から」と笑いながら話していまし
た。

とくにことしは家族に内緒で、
ワラビ取りに出かけ、約三万円の
小使いをためたほどの元気のある
話を聞かせてくれました。

分を食べる厄介な虫です。

さいわい本町の牧野は春の航空
防除による薬剤散布を実施してい
たため、波野村側からのまん延が
かなり防止できたようです。しか
し、町ではこの「夜盗虫」を絶滅
するため、地元農家へ薬剤補助を
講じるとともに、現在、異常発生
の調査を行なっているところだ



一玉十キロ近いのもできた高森産スイカ

有望な高冷地スイカ

高森 農協 多収作目で増反へ

高冷地を菜の主産地である本町
に、ことしから転作にスイカを導
入しましたが、かなりの好成绩と
生産農家や指導にあたった関係者
を喜ばせています。

栽培しているのは、村山、色見両
地区の農家七戸で栽培面積は約八
十ヘクタール。両地区の農家ともダイコン
白菜など高冷地を菜づくりが盛ん
ですが、このところ市場価格は不
安定で、ダイコンの場合など反当
収入は四、五万円が相場といわれ

ます。そこで、高森町農協が高収
益のあがる作目をあれこれ検討し
てスイカを奨励したものです。

栽培者はみんな初めてでしたが
南阿蘇農改普及所員らの指導で、
苗床づくり、苗接ぎ木、芽どめな
ど専門的な技術も習い、天竜二号
を植えました。希望の収穫時には
八キロ以上の質のよいスイカがいっ
ぱいできました。さきに出荷した
成績では、値段も特大で一玉五百
円、前後、平均で三百五十円と高
価格。熊本市場での評判もよいと
いわれ、二番成りを含めると十ヘ
クタール三、四十万円の収入が見込
まれています。

このように高冷地産の高森スイ
カが市場で評判がよい原因として
同農協では、①植木産など平地も
のが市場で二、三番果が出荷され
ている時、高森産の一番果(初も
の)が出荷できる。②露地栽培の
ため、昼間と夜の温度差が激しい
本町ではスイカの糖度が多くなる
と説明しており、一方農改普及所
では、技術面から高冷地のスイカ
栽培にあたっては、育苗時の温度
や定植直後の管理、収穫前(つゆ
上り)の管理さえ注意すれば好結
果を生み、新たな換金作物として
成長できると話しています。

根子岳山ろくの東部一帯にある
放牧地に、七月下旬ごろから牧草
を食い荒らす「夜盗虫」が異常発
生し、草が立ち枯れる被害がで
ています。

とくに被害の大きいのは波野村
の遊牧牧、根子岳牧周辺の原野約
三十ヘクタールですが、本町上見の洗川
部落でも隣接の牧野に被害がおよ
んでいます。このため、洗川牧野
組合(後藤唯夫組合長)二十七人

の人は他地域への広がりを
防止するため、このほど一斉駆除
を実施しました。

この「夜盗虫」というのは、正
式名をアワユウトウといい、体長
約一・八センチ。幼虫はウジ虫
に似た昆虫で背中が茶色、二
本の黒いスジがあり、成虫は蛾
(が)になって飛び土中に卵を生み
ます。そして、昼間は土中に眠り
夜に活動をはじめ草の柔らかい部

後藤家の祖後藤備後守則家の墓



色見村内で最も多い各姓の系図を調べてみたい。第二回目に色見村の発祥について少々私見を述べてみたが、さて、その後の長い期間の経過のうちに、他郷から訪れたいわゆるヨソ者が、先住民を支配統治するといった嵐の時期が再三あったに違いない。

日本古代史の中でも、個々の日本民族が渡来帰化人により、当時

色見各姓の系譜

本 田 耕 亮

一、阿蘇南郷へ豊後の牟人共来荒地おこし候由候尤之儀候、さやうに候はば兵糧をも少々取りかえ候て、一人も多く有付候様に可申付申付事專一候(以下略)

長い戦国の世がようやく終りを告げ、日本の支配権をにぎった豊臣

果実酒をつくらう

ぶどうは酒税法違反

暑い毎日ですが如何ですか。さて、暑さをしのぐ方法として、ご家庭で飲むお酒、果実酒があります。果実酒は見た目にもさわやかですし、体力増強にも役立つ飲み物です。また、ご家庭で手軽につくれる飲みものとして、奥さま方にも愛好されているようです。

ところで、果実酒に使うくだものにはいろんな種類がありますが、その中で美容と健康によい「レモン」でつくられる果実

に容器の中に入れ、砂糖を入れ、その中に表皮をむいて輪切りにしたもの表皮の塩位を一緒につけ込みます。約三週間もすると、ちょうど飲み

・しそ・くわなどがあります。つくってはいけな果実酒のくだものとしては、ぶどうがあります。

なお、果実酒には酒税法により家庭でつくってもよい果実酒と、つくってはいけな果実酒があります。

用のかき混ぜる、いちご・ぶみ・すもも

郷土の歴史を学び郷土の先哲が残した偉業を偲ぶことは郷土を愛する町民にとってきわめて大切な事です。数多くの名所史



< 6 >

蹟に恵まれたわが高森町の歴史を知るため、本欄では四月からシリーズで町文化財保護委員会の諸先生にお願いして「高森その歴史」を掲載しています。

草深い上色見の地を永住の地として住みつき、農民としての出発を再期したのであらう。

後藤は、大友の重臣戸次氏の部下であり、佐伯は神族大神氏を祖にもち、豊後佐伯の佐伯氏の流れで波野村榎木野にて阿蘇家の重臣として知行を得ている。次に前原の荒牧、下色見の若下両氏は、阿蘇家と密接な関係を持している。荒牧氏は、南郷下田の阿蘇権大宮司下田家の家臣筋から出ており、その一族が前原に居を構えたものである。また、下色見の若下氏一族は、天正年間に関した高森戦争の敗戦の一族と記録されている。いづれも、その直系は郷土の郷土として重きをなしてきた。さらに下色見の住吉姓は部落神、住吉神社の社名にゆかりがあるものと考え



高森電報電話局では、管内の電話をいっそう普及させるため、白水村吉田に無人局を建設中である。完成は十月初旬の予定ですが、この無人局の完成によって、白水村白川(清水製材所を含む)から白水村中松の飯川橋で区切られる地域までの電話番号は、新たに高森②九〇〇〇の番に変更されます。お暇のときは、高森②〇〇〇番(ゼロ四四)のダイヤルを廻してください。無料で局からのお知らせが聞かれます。

ろになります。これで香りとさわやかな味のレモン酒がでかあります。

なお、果実酒には酒税法により家庭でつくってもよい果実酒と、つくってはいけな果実酒があります。



「幼児が野犬に襲われた」農作物が野犬によって荒された。このところ、このように野犬による苦情をよく耳にします。町にいたる犬は約四百二十頭。そのうち登録と注射を受けているものは約三百六十頭。飼主はいても登録も注射も受けないものが約六十頭。

そのほか、野犬も相当いるもので、毎年犬の被害はたえまません。

町も被害をなくするため、野犬をふやさないよう不要犬の回収や捕獲に力を入れています。

そこで、野犬があつたをたない原因と正しい犬の飼育方について考えてみましょう。

〈不要犬は保健所へ〉

子犬が生まれて処置に困り、付近の空地や山に捨てたことはありませんか。

引越の際「犬までいっしょに連れて行くのはめんどろだ」と犬を放してしまつたことは、このような犬が野犬化し、群れをなして路上をさまよひ、ゴミ箱を荒したり、大声で鳴き、時として町民のみなさんに危害を加える結果となっています。

未登録犬が60頭も

町内各地で相つぎ被害 飼育ルールを守ろう

野犬をなくするためには、捨て犬を絶対やめることも一つの条件です。いらなくなった犬は、第一、第三火曜日の午前中に保健所へ連れて来てください。係員が引き取ります。

今日、いつ外国から病気が伝わって発生しないとも限りません。生後九十一日以上の犬には必ず登録と、春・秋の予防注射を受けさせてください。

もし、集団注射にもれた場合は

もし、犬が人にかみついた時、飼主はただちに町保健衛生係、もしくは保健所高森支所に届け出るのと同時に、犬猫病院で狂犬病の有無を必ず検診してもらってください。

猫病院におたすねになり、ごしどしご活用ください。

高森地区でも高森警察署、および阿蘇南部交通安全協会等が主体となつて、このコンクールを推進しておりますが、ドライバーの方は、これを機会に交通安全意識の高揚に努め、事故の起きないように注意してください。

捕獲された放し飼いの犬



さらに、正しい犬の飼育方を守つていただくことが必要です。「子どもが拾ってきたから」「子犬がかわいいから」と言つて、安易に犬を飼うのではなく、ルールにあった飼育方をしてください。野犬をなくすためには、最も大切なことです。

〈必ず登録と予防注射〉

現在、日本では狂犬病は発生しておりませんが、交通機関が発達し、犬の移動が激しい

追施設の注射を必ず受けましょう。本町は熊本県犬取締条例によって常時係留しなければならぬ地域に指定されておりますが、住みよい街づくりのためにも、犬はぜひつないで飼ってください。

しかし、つないでばかりでは種の病気の原因になります。朝晩じょうぶな鎖でつないで散歩させ時には犬小屋もきれいに掃除してやりましょう。

めす犬を飼っている人は「発情期になるとおす犬が寄つてくるさい。生まれた子犬の処置に困る」といった経験がありがたし。無計画な繁殖が、野犬増加の大きな原因となつていきます。

そこで、めす犬に対する不妊手術を受けることが最近ではクローアップされてきました。費用は三千円程度。くわしいことは、よりの犬

〈不妊手術のご利用を〉

交通事故防止コンクールを実施

県交通安全協会など

毎年増加を続けていた交通事故は、本年に入つて、件数、負傷者は減少傾向を示しているものの、死亡者は依然としてふえ、史上最悪の事態となつています。

このため、県警本部、県交通安全協会、県安全運転者等協議会の三者では、こんご交通事故の多発期を迎え、さらに死亡者の増加が予想されることから、事故防止と安全運転意識の徹底を図るため、七月二十一日から九月いっぱいまで、「交通安全防止コンクール」を実施しています。

これは、各地区の交通安全協会、安全運転管理事業所の車輛などが、交通事故や法令違反を起していないかをチェック、その成績を競うものです。実施要領は各地区の交通安全協会が全員参加。各地区会員の事故を採点基準によつて集計し、会員数で割り、点数の少ない団体が上位となります。

高森地区でも高森警察署、および阿蘇南部交通安全協会等が主体となつて、このコンクールを推進しておりますが、ドライバーの方は、これを機会に交通安全意識の高揚に努め、事故の起きないように注意してください。

お知らせ

読売育英奨学 制度の利用を

読売新聞社では、働きながら、自分の力で東京、大阪、博多、北九州の大学または、九州理工専門

学校に通学する学生に対して、奨学資金を貸与し、有為な人材の養成につとめることを目的とした「育英奨学制度」を実施しています。が、現在、来年度の奨学生を募集

中です。詳細は左記に問い合わせると、パンフレットと申込書を無料で送ってくれます。
北九州市小倉区明和町の十一読売新聞社内、読売育英奨学会事務局広係 電話〇九三―五三―五三三―

十七日に巡回 交通事故相談

県主催による九月の巡回交通事故相談が、来る十七日午前十時半

歌会始めの お題は「朝」

四十九年歌会始めのお題、および詠進歌の詠進要領が次のとおり宮内庁から発表されました。
▽お題は「朝」歌句の中に、朝の語をよみこむほか、あした・朝明・ありあけ・しのめなどを用い

てよい。
▽詠進歌の詠進要領 ①一人一首とし、未発表の歌に限ります。②用紙は半紙とし、毛筆で自書のこと。③病氣または身体障害のため毛筆で自書できない場合は代筆を認められますが、その場合は理由を書いた別紙を添えること。なお盲人は点字で詠進できます。
▽詠進の期間 九月一日から十月十一日（消印有効）まで。
▽あて先 東京都千代田区千代田一番一 宮内庁
▽詠進の書式、注意事項等くわしくは、総務課文書広報係へ。

びっくり四千二百萬円で落札

吉見神社 樹齢七百年の老木

草部の吉見神社（岸口昭世宮司）の境内にある杉の老木が、拝殿修復のため競売されることになり、このほど、現地で入札

の許可があり、入札競売会を開催したところ、全国から三十一の銘木商が詰めかけ、大阪府摂津市の銘木商、松野信夫さんが四

千九百九十六萬円で落札しました。地元では、これだけの銘木は九州でも珍らしいと察し、三



この杉一本が4200万円

千万円の値にはなると見積っていましたが、思わぬ高値がつきビックリしていました。
伐採は、十月下旬の予定で、氏子総代会では、この売り渡し金を神・拝殿、かぐら殿、社務所の修復資金にあてることになっています。

不慮の交通災 害に見舞金制

町民の交通災害見舞金制度があるのをご存知でしょうか。この制度は、みなさんが思わぬ交通事故でケガをしたときや、入院、または死亡した場合、見舞金が一に催えているものです。しかし、事故の報告が遅れると災害見舞金が出なくなる場合があります。交通事故で十日以上の災害を受けたときは、すぐ役場町民課へ連絡してください。

みんながつくる町民のひろば



町このらんこ「声」はみなさんのページです。よりよい高森を築くために建設的なご意見を

でしようが、案外子どもたちに与える夢は大きいものと思えます。この点、向上会の皆さんによく検討していただきたいものです。おとなから子どもたちの祭りへ比重が移ることによって、子ども

たちが大きくなっても、祭りの思い出は心のどこに残っているでしょう。このことが阿蘇のふるさとに残された高森だけの祭りとなるのではないのでしょうか。「樽みこしに竹のシャンシャン馬ではしゃぐ子どもたち」―また変わったほほえましい祭り行事になるでしょう。この点皆さんで考えてみましょう。ではありませんか。

おたずね

コーナー

【問】 国民健康保険税は他の税に比べ相当高額になりますが、保険税の算出方法について教えてください。 ―被保険者―

老人ホームを慰問して

野尻北部婦人会長 岩下千代

去る三月河原婦人会五十名、内牧老人ホームの慰問にまいりました。御挨拶もそこそこに、婦人会持ち合せの踊りを二、三披露いたしましたところ、老人の方もどうして、どうして、私共顔負けのお踊りや唄など出していただき、逆に私共の方が慰められた気持ちで恐縮しました。一生懸命踊っている自分の姿を見ても、やがてはなこみ上げて来るものを感じました。唄と踊りに興じた二時間余りでしたが、その中に泥で固めた人形のように無表情な方も見受けられました。これが最後になるかも知れませんが、お婆さんをおろした八十才のお婆さんもおられました。あの日、老人の一人一人の顔が今も私の脳裏に

焼付いております。年毎に老人福祉も向上し、老齢年金の支給・医療費の無料化など、老人に対しては、いたれりつくせりで、本当に今の老年寄りは恵まれていると思うのですが、ご老人の方は果して幸せと思っていられるのでしょうか。先日、幹部研修会での講演の中に「老人を大切にすることは家庭の親和一家団欒が何より大切であるといわれましたように、金銭的なものよりも人間的なものを老人は求めておられると思います。家庭の不和から老人ホームに行かれる人もだんだん多くなりつつありますが、りっぱな家庭がありながら、淋しい思いをさせるのはもったいないかであると思います。私自身、いま一度反省、年寄りには親切に、と思います。

―国保係―

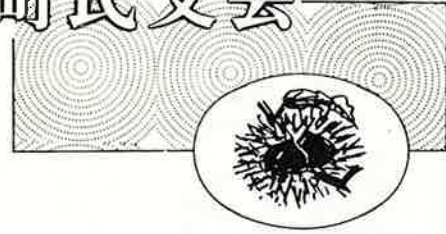
打首者位

上色見小六年 楠木野てい
＜評＞元気の良い字ができました。全体の字くばりに気をつけると、もっとりっぱな作品になるとおもいます。
―担任高木―

そこでは、こんどの夏祭りについて次のようにしてはどうかと思います。それは、あきらめるものはあきらめ、それに変わるものを盛り上げてはどうかということです。幸い町内の子どもたちは樽みこしをかつぎ、汗だくになってワッショイ、ワッショイと祭りに駆け込んでいました。樽みこしに竹馬のシャンシャン馬を添え、今までのなごりを残したら、子どもたちに一段と胸のふくらみを与えるのではないのでしょうか。痴戯に類すると思われる方もある

ふるさとの祭り、それは地区の民俗と歴史のつながりをもっています。わが高森町の夏祭りは、おみこしとシャンシャン馬で、風鎮祭、尾下りの獅子舞とともに、近隣に残された唯一の祭りらしい祭りでありました。それも、こしは馬が少ないため、おみこしだけの祭りとなってしまったことはやむを得ないといえ残念なこと

町民文芸



秋暑し風鎮太鼓聞こえ来る
客の待つ仕掛花火が照らす池
客迎え祭囃子に気もそぞろ
造り物見にむつまじく浴衣着て
入賞の夢を語りて山車作る
山引きもいつしか果てて虫すだく
台風も祭をよけて通り過ぎ
風鎮祭踊り太鼓の競いあい
若衆の袴慕々し風祭
秋めきし宵を祭の群に入る

肥後狂句

暑さ暑さ、飯場も欲しい夏休み
恵まれて、自然の残る南阿蘇
危ア、鎌むき出しで乗らすバス
恵まれて、セールスで来るお客
人も好き好き、若い身柄でなる尼僧
危ア、ちゃんと担保貰うとけ

俳句

風鎮祭
子等の欲る店立ち並び夏祭
外輪の山にこだまし揚花火
踊りの輪ゆかた姿のはなやかに
冷風の肌につめたく花火見る
競い引く山車に湧き立つ里祭
さんざめく町に浮かれて祭見に
酔うておるらしき踊りの男かな
指さして踊子の名を教えけり
お囃を遠く近くに夫端居
軒並に祭の客の雨やどり
今年又顔が揃いて盆踊り
祭客混み合う駅に見送りし
幼な児もハッピーはち巻き夏祭
帰省子の山引きまわす勇ましや

御神火会七月例会入選句

岩下 扶美
林 久恵
山村 純代
山村 ふみ子
浦家 南天
岡本 琴司
林田 一
白根 音狂
林田 瑤子
馬原 笑

おめでた おくやみ

出生	(住所)	(保護者)	S 48. 7. 16~S48. 8. 15	(出生児)	(性別)	(生月日)
西中原天	天神	榎木野松中	孝一男	慎昇	男	7. 6
冬横旭洗	野町通川	甲斐木山丸藤	悦行幸宣	成恵行明	男	7. 14
森	森	徳佐佐	幸宣	誠仁文	男	7. 10
芹	留	口	明善	由政	男	7. 20
津	留	高	昭國	雄生久	女	7. 16
野	留	吉	朝善	初安	女	7. 18
津	留	良	明善	博英	女	7. 22
野	留	山	善雄	紀明	女	7. 30
野	留	山	雄和	昭子	男	7. 12
野	留	山	初安	美	女	8. 2
野	留	山	博英	角	女	7. 28
野	留	山	健建	三	女	7. 22
野	留	山	三	角	男	7. 25

死亡	(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年令)	(死亡月日)
下町	津留	保清	妻	津留ミヤ子	51	7. 25
村山	甲斐	ヲワリ	夫	甲斐末貞	68	7. 17
津留	今村	ヤエコ	夫	今村義一	65	8. 14
昭和	奥村	政次	2女	奥村明美	0	7. 17
中	二子	石クミエ	夫	二子石寛伍	76	7. 29
芹口	熊谷	保武	父	熊谷茂	83	8. 10
津留	瀬井	弘子	父	瀬井晴源	34	7. 29
尾下	久々	宮徳幸	父	久々宮勇	82	8. 1
津留	甲斐	シズ子	夫	甲斐武豊	53	8. 3
尾下	佐藤	ササエ	夫	佐藤末人	69	8. 11

菜の花句会

住吉 ながえ
那須 きぬ子
内田 あや女
松岡 のぶ子
古庄 泰子
桐原 寿
平田 るり子

ご寄付

ありがとうございます

次のかたがたから心暖かいご寄付を町社会福祉協議会へご寄付いただきました。厚くお礼申しあげます。

〔一般寄付〕

昭和向上会から風鎮祭で得た益金三千円をご寄付いただきました。

〔香典返し〕

高森村山 (甲斐 末貞)

高森下町	五千元	甲斐ヲワリ
津留山	一千元	津留ミヤ子
津留山	一千元	津留保清
津留山	一千元	瀬井晴源
尾下牧戸	五千元	瀬井ツル子
下切	一千元	久々宮勇
芹口	一千元	久々宮徳幸
高森津留	一千元	工藤和子
高森横町	一千元	工藤貞光
高森村山	一千元	熊谷茂
高森村山	一千元	熊谷保武
高森村山	一千元	今村義一
高森村山	一千元	今村ヤエコ
高森村山	一千元	工藤忠久
高森村山	一千元	工藤辰美